

## 単元名 わたしの感じる和(鑑賞)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 生活の中にある日本の美術の形や色などの特徴を捉えることができる。  
 (2) 日本の美術作品や、生活の中の造形などから、そのよさや美しさを味わい、自分の見方や感じ方を深めることができる。  
 (3) 古くから生活の中で親しまれてきた日本の美術のよさや美しさを味わう活動に主体的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

06080201\_001

【準備等】日本美術の複製（映像や掲示物），巻物，扇，屏風などの模型，和紙，画用紙，色鉛筆，墨，筆  
 和柄のもの，和柄の図版，液晶プロジェクター，水彩用具一式，サインペン，色鉛筆

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書に紹介されている和の形のよさや美しさについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りにある和柄のものについて紹介する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑貨</li> <li>・服</li> <li>・食器</li> </ul> </li> <li>★日本の美術を知り、よさや美しさを味わおう</li> <li>○教科書の参考作品について話し合う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・扇…使う場所に応じた模様</li> <li>・屏風…部屋の仕切りや飾りとして使う。折ってできる奥行きを生かして絵が描かれる。</li> <li>・焼き物…焼く温度やつくり方，せゆうの方法など様々な表現が日本各地に根付いている。</li> <li>・和食…材料などで季節感を出す。食器や盛り付けも工夫されている。</li> <li>・切子細工…ガラスをカットして，いろいろな模様をつける。</li> <li>・着物…季節に合わせた模様や文様。</li> </ul> </li> </ul> <p>2 日本の美術のよさを今に伝える和柄を模写する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○和柄を写したり，色をぬったりする。</li> </ul> <p>○自分の作品を紹介したり，友達の作品を見て感想を話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紅白梅図屏風を見て，力強い感じを表そうと思いました。</li> <li>・扇の柄が夏らしくて，仰ぐと涼しそうに感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書5・6下 P.38, 39</li> <li>・美術館や本で見たもの，時代劇などで見たものから発表させてもよい。</li> <li>・実際に，今でも使ったりよく見たりするものがあることに気付かせる。</li> <li>・どのようにして見たり使ったりするのか考えさせる。</li> <li>・現代の生活に通じる部分に気付かせる。</li> <li>・模写などによって受け継がれる伝統について知らせる。</li> <li>・当時の人々の生活を踏まえ，そのよさや面白さを感じさせるようにする。</li> <li>・現在ではあまり使われていない根付や印籠なども紹介し，興味を深めさせる。</li> <li>・教科書5・6下のP.4の「風神雷神図屏風」を活用してもよい。</li> <li>【評】自分たちの暮らしの中にある「和」のよさや表現の特徴を感じ取る活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】日本の美術のよさや美しさを味わう様子を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・図版などから，気に入った和柄を選ばせる。</li> <li>・うちわや扇などに「和」を感じる模様を表現させてみてよい。</li> <li>・コンピュータを使い，色を着けさせてもよい</li> <li>【評】自分たちの暮らしの中にある「和」の特徴を捉え，それを生かして表現する活動を通して，「知識・技能」を評価する。</li> <li>・作品を見せ合い，面白いところや，うまく表現できているところなど，お互いの感想を伝え合わせる。</li> </ul>

## 【 備 考 】

特別の教科道徳との関連について

「C- (17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつこと」と関連が深い。日本に伝わる伝統的な造形に触れることで，文化を大切にし，郷土や国を愛する心をもつことができる。